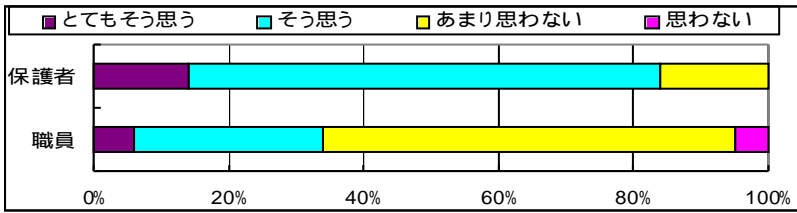


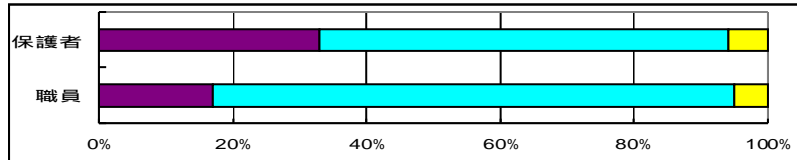
学校教育活動の改善に関するアンケートの結果

1 主体的な学び・豊かな感性と授業の充実について

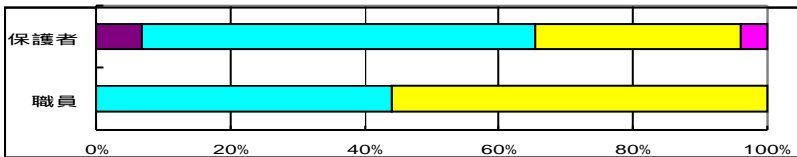
子どもたちは、学校や学級の目標に向かって育っている。



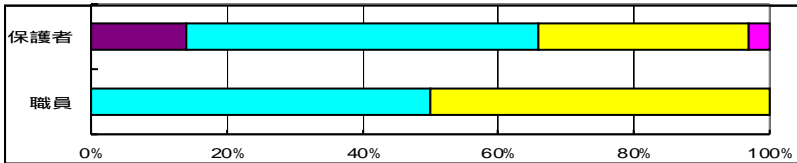
学校は、学校説明会や学校だより、学年だよりなどを通して、本校の教育を保護者に理解してもらうための努力をしている。



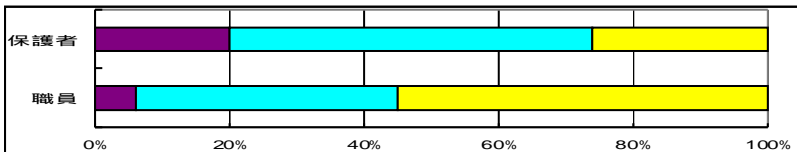
授業は落ち着いた雰囲気の中で進められている。



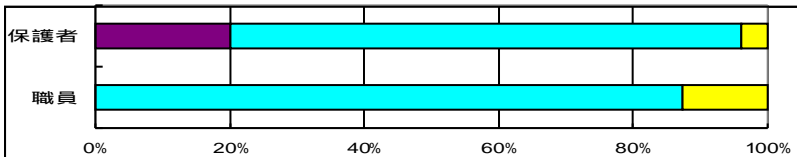
子どもたちの考える力が身につくように、きめ細かい指導がされている。



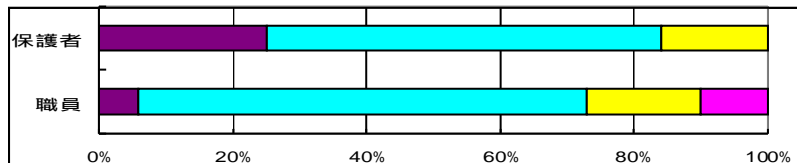
学びあったり認め合ったりする活動がみられる。



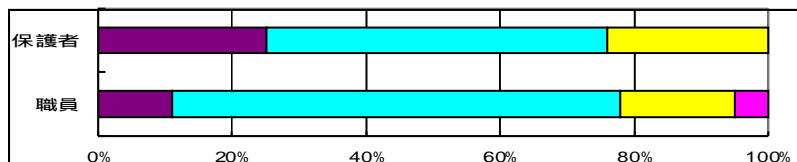
先生はわかりやすい授業をしている。



地域の方から学ぶ活動を積極的に取り入れている。



子どもたちはスマイルキッズの活動を楽しみにしている。



1 主体的な学び・豊かな感性と授業の充実について

10の評価項目に対して、保護者・地域からは「概ね満足している」との回答を得ています。学校の取組を評価してくださっていることに感謝いたします。

ただ、同じ評価項目に対して、職員の自己評価は次の通りです。

学校・学級目標に向かって育っていることには不十分さを感じる。

授業が落ち着いた雰囲気の中で進められていない実態がある。

考える力がつくように、きめ細かい指導に不十分さを感じる。

学びあう学習・認め合う学習に不十分さを感じる。

わかりやすい授業には職員は力を注ぎ、がんばっていると自身を評価しています。

地域から学ぶ授業が不十分。

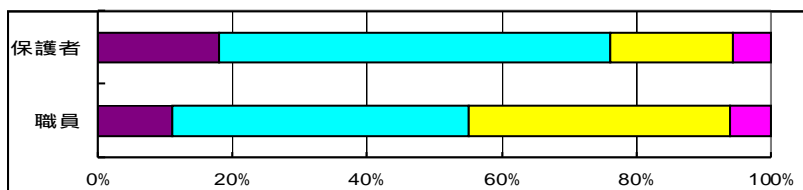
異学年交流を通してのやさしさ・思いやりの心の育ちについてはまだまだだと感じている。

など、保護者評価に比べて厳しく捉えています。

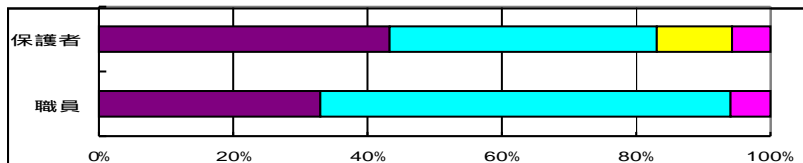
逆に、良い点として、

「学校説明会や学校だより、学年だよりなどを通して、本校の教育を保護者に理解してもらうための努力をしている」点については、保護者も職員も95%が良いと答えている。たよりが広く皆さんに読まれているということで、学校のあらゆる活動を理解していただくために大変ありがたいことです。今後も、より充実した情報発信に努めていきます。

異学年交流活動を通して、子どもたちはやさしさや思いやりの心が育ってきていると感じる。

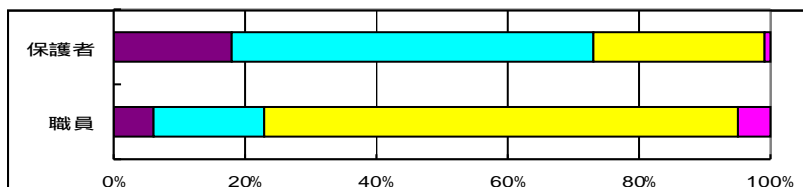


子どもたちは英語活動を楽しみにしている。

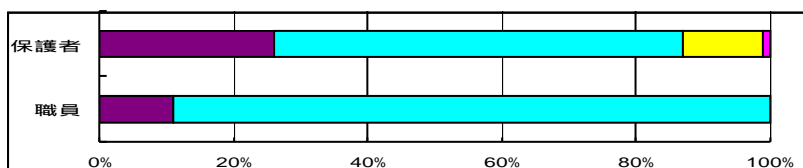


2 生活について

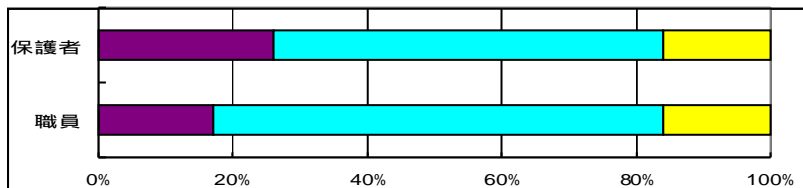
子どもたちは集団生活に必要なきまりや約束を守って生活している。



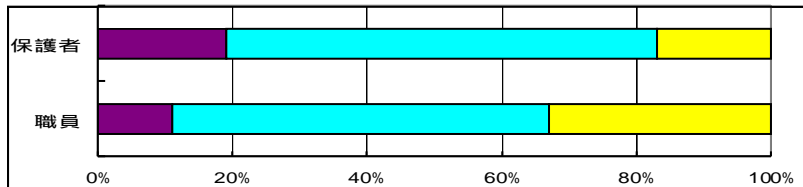
学校は保護者の意見に耳を傾けようとしている。



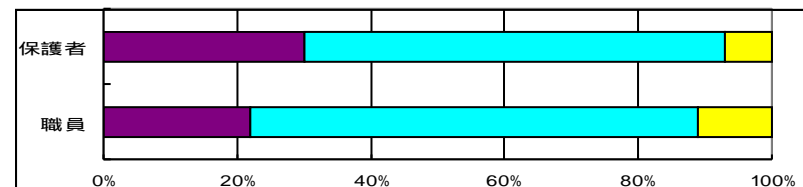
保護者は「あいさつ」ができる子を意識して育てている。
職員は「あいさつ」ができる子を意識して指導している。



保護者は「言葉遣い」を意識して育てている。
職員は「言葉遣い」を意識して指導している。



「早ね、早おき、朝ごはん」を意識して生活している。
職員は時間を守ることを意識して指導している。



2 生活について

5つの評価項目に対して、保護者・地域からは「概ね満足している」との回答を得ています。ただ、同じ評価項目に対して、職員は下記のように厳しく自己評価しています。今後の学校生活のなかで、引き続き指導に力を入れて参ります。

「集団生活に必要なきまりや約束を守って生活をしている」ことには、77%ができていないと答えています。

「学校は保護者の意見に耳を傾けようとしている」に対して、保護者の中には、わずかではあります但しできていないと感じていられる状況があります。学校はこの数字を真摯に受け止め、さらに努力をして参ります。

挨拶に関しては、保護者・職員ともに意識して育てようとしています。

「言葉遣い」「早ね、早おき、朝ごはん」に関して、互いに意識しています。

「言葉遣い」「早ね、早おき、朝ごはん」「あいさつ」は子どもたちが健やかに成長する上で、とても大切なことだと思います。ご家庭でも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。